

# 総務部防災安全課

## 1 非常備消防関係

### (1) 消防団

ア 団員異動状況（平成31年3月31日現在）

分団数	団員数			定員
	入団	退団	現員	
28分団	18人	26人	513人	544人

### イ 行事

(ア) 6月3日 第14回米子市消防ポンプ操法大会（鳥取県消防学校）

a ポンプ車操法の部

優勝 夜見分団、準優勝 淀江町第1分団、第3位 成実分団

b 小型ポンプ操法の部

優勝 福生東分団、準優勝 河崎分団、第3位 車尾分団

(イ) 7月1日 第64回鳥取県消防ポンプ操法大会（倉吉市防災センター）

a ポンプ車操法の部 夜見分団 優勝 淀江町第1分団 5位

b 小型ポンプ操法の部 福生東分団 優勝 河崎分団 5位

(ウ) 10月19日 第26回全国消防操法大会（富山県広域消防防災センター）

a ポンプ車操法の部 夜見分団 準優勝

(エ) 1月6日 米子市消防出初式（米子市文化ホール）

(オ) 3月3日 米子市消防団・米子消防署合同消防演習（鳥取県消防学校）

(カ) 随時 女性消防団員の防火予防広報（市内保育園・幼稚園、自治会等）

### ウ 消防団員教育訓練

(ア) 米子市主催のもの

a 5月20日 消防ポンプ操法研修会（西部消防局）

b 5月22日 米子市消防ポンプ操法大会審査員説明会（西部消防局）

c 8月26日 南部・箕蚊屋・淀江町ブロック救急訓練及び規律訓練（鳥取県消防学校）

d 9月30日 機関員実施訓練（西部消防局）

(イ) 鳥取県消防学校入校によるもの

a 4月21日・22日 消防団員基礎教育（第71期）

b 5月12日・13日 消防団員特別教育・消防操法指導科（第41期）

c 6月16日 消防団員女性団員教育（第12期）

d 8月27日・28日・29日 応急手当普及員講習

e 9月1日 消防団員専科教育・機関科（第53期）

f 2月9日・10日・11日 消防団員幹部教育指揮幹部科（第3期）

g 2月23日・24日 応急手当指導員講習

エ 報酬及び費用弁償

(単位：円)

階 級 区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
報酬年額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
機関員加算	ポンプ自動車機関員報酬年額 13,300 可搬ポンプ機関員報酬年額 7,800						
費用弁償	出場、訓練、警戒等 1回につき 2,800						

オ 表彰等 (主なもの)

表 彰 等 の 種 類		階 級	氏 名
功績章		副団長	杉 尾 繁 樹
日本消防協会会長表彰	精績章	分 団 長	長 木 正
		分 団 長	影 谷 悟
		分 団 長	道 下 和香美
	勤続章	分 団 長	田 中 剛
		副分団長	須 山 則 昭
		部 長	八 幡 康 久
		班 長	門 本 司 郎
		班 長	山 岡 明
		班 長	中 田 正 雄
		班 員	京 谷 耕 作
		団 員	八 田 純 一
		団 員	足 立 弘 秋
鳥取県知事表彰	功労賞	副分団長	岩 佐 訓 良
	功績章	分 団 長	木 下 成 安
		分 団 長	高 木 肇
		副分団長	隠 樹 千佳良
		部 長	大 原 学
		部 長	下 村 賢 治
		部 長	堀 口 誠
鳥取県消防協会会長表彰	特行表彰	部 長	西 田 軍 治
		副分団長	松 本 利 弘
		部 長	渡 部 善 之
		部 長	村 松 貢
		班 長	足 立 智 彦
		団 員	篠 原 正

表彰等の種類		階級	氏名
鳥取県消防協会長表彰	勤続賞	分団長	濱田 俊一郎
		部長	石橋 淳
		部長	田口 雅章
		班長	森本 好和
		団員	渡部 達也
		団員	本田 明広
		団員	森田 創
		団員	阿部 裕郎

(2) 消防施設関係

ア 消防水利施設整備

火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うため、上水道消火栓の増設、補修を行った。

(ア) 上水道消火栓増設

(イ) 上水道消火栓補修

イ 消防団施設等整備

米子市消防団夜見分団車庫の建替えを行った。

ウ 消防車両等整備

米子市消防団に配備している消防ポンプ自動車のうち、老朽化の著しい車両について、新規購入し更新した。

(ア) 更新車両

米子市消防団大高分団に配備されている車両。

(イ) 規格(型式) CD-1型、A-2級

2 防災関係

(1) 県内統一土砂災害防災訓練

県と連携した土砂災害に係る情報伝達訓練を実施し、土砂災害防災力を向上した。

ア 実施日 平成30年6月1日(金)

イ 実施場所 防災安全課

(2) 米子市防災訓練

大高地区において、大雨洪水を想定した防災訓練を実施し、一連の災害対応手順を確認するとともに、住民の防災意識や地区の防災力を向上させた。

ア 実施日 平成30年5月20日(日) 9:00~12:00

イ 実施場所 大高地区、米子勤労者体育センター

(3) 防災行政用無線

平成28年度から平成31年度までの4箇年で全市を整備する計画にしている。平成30年度で第3期工事が完了した。

平成30年度総事業額432,710,334円(うち防衛事業補助額219,448,000円)

#### (4) 自主防災組織の育成

地域住民が、それぞれの立場、役割に応じて、隣保共同の精神に基づき自主的な防災活動を行うための自主防災組織の育成に努めた。

平成30年度には新たに39団体が結成され、米子市全体で288組織となった。

##### ア 平成30年度新規結成組織（米子市自主防災組織結成補助金を交付した団体）

名称 朝日町1区防災会、朝日町2区防災会、糺町2丁目東防災会、万能町防災会、日野町防災会、法勝寺町防災会、紺屋町防災会、道一防災会、道二防災会、加茂町2丁目防災会、崎津3区防災会、崎津4区防災会、崎津5区防災会、崎津8区防災会、崎津9区防災会、崎津10区防災会、彦名3区防災会、和田3区防災会、和田11区防災会、富益町南口防災会、富益町下新田防災会、富益町上新田防災会、夜見4区防災会、永江2区南防災会、福市5区防災会、下泉防災会、車尾2区防災会、車尾4区防災会、淀江8区防災会、末広町防災会、塩町防災会、目久美町防災会、灘町2丁目東区防災会、久米町防災会、灘町2丁目西区防災会、角盤町3丁目防災会、灘町3丁目防災会、内町防災会、加茂町1丁目防災会

(ア) 世帯数 2,776世帯

(イ) 助成額 1,683,400円

##### イ 平成30年度自主防災組織育成補助金 交付実績

(ア) 交付件数 127件

(イ) 交付合計額 2,225,000円

##### ウ 平成30年度米子市防災研修会

市民の防災意識の啓発・向上を目的に、東日本災害伝承語り部の松田富子氏の講演を行った。

(ア) 開催日時 平成31年2月3日(日)

(イ) 開催場所 米子市福祉保健総合センター 大会議室

(ウ) 参加者 180人

### 3 災害関係

#### (1) 大雨警報（7月5日～8日）

ア 米子市災害対策本部（7月5日）

イ 避難所開設 22施設

#### (2) 青木地区土砂災害（7月10日）

ア 米子市災害対策本部（7月10日～20日）

イ 避難所開設 1施設

#### (3) 台風20号（8月23日～24日）

ア 米子市災害警戒本部（8月23日）

イ 自主避難所開設 2施設

#### (4) 台風24号（9月30日～10月1日）

ア 米子市災害対策本部（9月30日）

イ 避難所開設 22施設

#### 4 防犯対策関係

##### (1) 米子市防犯協議会総会

5月18日、市役所本庁舎5階議会第2会議室で開催した。

会 長 福 景 順 一 (米子市自治連合会長)  
副 会 長 北 村 軍二郎 (米子市自治連合会副会長)  
" 田 後 良 文 (米子市社会福祉協議会長)  
" 長 尾 修 (米子市学校校外指導連絡協議会長)

##### (2) 防犯灯設置費等補助金の交付

各自治会防犯灯の設置等について助成を行った。

ア 新設	70基	1,500,692円
イ 光源装置のLED化	529基	5,175,000円
ウ 照明器具の取替	13基	91,000円
エ 移設	1基	16,900円

##### (3) 防犯灯電灯料補助金の交付

各自治会防犯灯の電灯料について助成を行った。

5,341灯 7,946,178円

#### 5 水難事故防止対策関係

##### (1) 米子市水難防止協議会総会

平成30年5月30日、市役所本庁舎5階議会第2会議室で開催した。

会 長 伊 木 隆 司 (米子市長)  
副 会 長 福 景 順 一 (米子市自治連合会長)

##### (2) 広報用チラシ・ポスターの配布

ア 広報用チラシを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園に人数分配布した。  
イ 広報用ポスターを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園、公民館に掲示した。

#### 6 米子市防災会議

開催なし

#### 7 原子力防災関係

##### (1) 防災訓練の実施

島根原子力発電所において緊急事態が発生した場合に、住民避難を迅速かつ的確に実施し、住民の生命、身体等を保護する目的で鳥取県、島根県、島根原発周辺市及び関係機関と合同で原子力発電所事故の通報を受けてから住民避難にかかるまでの初動対応訓練とJR、バス、ヘリコプターなど、様々な移動手段を使った避難訓練を実施した。

また、避難経路や避難先を住民の方に理解していただくため、避難先等確認訓練も実施した。

ア 船舶を利用した避難訓練

(ア) 開催日 平成30年8月18日(土)

(イ) 参加者 訓練担当職員2名、一般参加者15名

イ 初動対応訓練

(ア) 開催日 平成30年10月26日(金)

(イ) 会場 市役所本庁舎第2応接室

ウ 避難訓練

(ア) 開催日 平成30年10月30日(火)

(イ) 参加地区 住吉地区

(ウ) 参加者 約90人

エ 避難先及び避難経路確認訓練

(ア) 実施日 平成30年9月23日(日)

(イ) 実施対象 富益地区西中自治会

(ウ) 参加者 20人

(2) 原子力防災講演会の開催

鳥取県、境港市と合同で開催予定であったが、大雨のため中止とした。

ア 開催予定日 平成30年7月7日(土)

イ 会場 米子市役所本庁舎4階 401会議室

ウ 講師 東京大学工学系・情報理工学系等安全衛生管理室 特任専門職員 飯塚 裕幸氏

(3) 米子市原子力発電所環境安全対策協議会の開催

島根原子力発電所の安全対策等を把握し、市民の安全及び健康の確保に資するため、各種の団体職員及び公募により選定した団体の構成員などで協議会を開催している。

ア 開催日 平成30年5月10日(木)

イ 会場 米子市福祉保健総合センターふれあいの里 4階中会議室

(4) 鳥取県原子力安全対策合同会議の開催

本年度は、米子市原子力発電所環境安全対策協議会委員のほか、境港市の同様の協議会委員、鳥取県、中国電力等による合同会議を行った。

ア 開催日 平成30年7月24日(火)

イ 会場 西部総合事務所本館B棟 2階講堂